

学習習慣確立のために 国語 古典

☆「古典」という科目→「古文」と「漢文」交互に進めます。

(毎回の授業)

- ① 教科書（改訂版 国語総合 古典編）
② ノート ルーズリーフは不可とする。ノートを用いること。なお、古文用、漢文用と2冊用意する必要はありません。）

ノート作成例（イメージ図）

(予習ゾーン)	(板書ゾーン)
今は昔、忠明といふ檢非違使あり	今昔物語集……平安時代末期の説話。
けり。若男にてありける時、清水	
の橋殿にして、京童といさかひを	
しけり。京童部、刀を抜きて忠明	
を立てこめて殺さむとしければ、	

授業を聞いて分からないことをメモしておき、しつこく質問せよ。

授業で習った文法、単語、内容について、ノートを見てもう一度確認する。(授業をしつかり聞き、授業中に確認できれば復習は不要。)

ノート作成例

学習習慣確立のために 国語 現代文

手の変幻

は辞書で引き

月岡卓行
語句

語句について

No.

【毎回の授業】

・「教科書 改訂版国語総合 現代文編」

・「ノート（ルーズリーフは不可とする。ノートを用いること）

・「国語辞典」

・「常用国語便覧」

※以上4点は、毎回授業で持参すること。

【定期考査・長期休業明け実力テスト対策】

・「核心漢字2500+語彙1000」

（提出不要、各考査の漢字の出題範囲は別紙を参照すること）

【長期休業中の課題】

・「3ステップオリジナル問題集 基礎現代文」

（休み明けに教科担任に提出する。もちろん普段の学習として、自分のペースで取り組んでもよい。）

【予習の仕方】

①教科書を一読する。

②分からなかつた語についてノートの下方に記し、辞書を引き意味を記す。

③分からなかつた漢字について練習する。

④四字熟語 常用国語便覧P494～500 参照)、対義語、類義語、ことわざ・慣用句(常用国語便覧P502～507)などがあればノート下に記しておく。

【授業中に取り組むこと】

①文章をしっかりと読み取る。

②自分の考えを持ち、自分の言葉で表現する。

【復習】

不要。授業をしつかり聞いていればそれが復習となるはずである。

授業を聞いて分からないことはメモしておき、しつこく質問せよ。

△第一段落

（ポイント） 文章を読む時は、まず題を必ず確認する

記しておく。

△口のビーナス

（ポイント） 両腕を失ってなければならぬ

（魅惑的） 美術作品の運命も微妙な協力をしている

（ポイント） この後ろが重要

授業の

（ポイント） 要するになど

（ポイント） この後ろが重要

決して忘れない

（ポイント） ように板書

（ポイント） 稲見されるまでの経緯

を工夫する。

（普通） 普遍：例外なくすべての対象にあてはまる。
（一般） 一般：（例外）があることを前提として（すべて）の対象にあてはまる。

（現実性を強調） メロス島で発掘

（現実性を強調） 同胞：生臭い秘密を場所にせざる

（現実性を強調） 美しさのために無意識的に隠した。

（現実性を強調） 国境と時代を超えるため

（現実性を強調） 漢字は空いている

（現実性を強調） スペースを利用

（現実性を強調） Aである（いや） Bである（どちらか重要な）

（現実性を強調） して練習する。